

# 活セン ニュース

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834



10月は、日本列島を横断した台風19号に始まり、20号、21号と続けて日本に接近し、各地に多くの被害をもたらしました。被害も広範囲にわたり、洪水やがけ崩れなど多くの方が犠牲になりました。ニュースで被害の詳細がわかり、惨状を見るたびに、心痛めた方も多くいたことでしょう。

災害は、もはや日本中どこでも起こりうることです。改めて家の周りの点検や家具の配置、ハザードマップを確認したり、災害を想定して家族で実際に避難所まで歩いてみたりしてはいかがでしょうか。家族の連絡方法を確認することも必要です。

台風19号の雨による洪水で、被災した住宅の掃除に参加しているボランティアの方が「少しでも役にたてるならと思い参加しました」と報道でコメントされていました。

## 被災地支援…私たちにできることはなにか？

そんな方のために、支援の方法を紹介します。

## 被災地支援 私たちにできること

### ① 災害ボランティア

被災地で作業をする

(家具の片付けや掃除、粗大ごみの運び出しや土砂の撤去など)

※被災地のボランティア受付は、日々状況が変わります。

事前にボランティアセンターにお問い合わせください。

長野市行きの「ボラパック(ボランティアバス)」の運行が始まります。

2コース募集中 { 11月8日(夜)、津発～9日、10日作業～10日(夜)、津帰着

{ 11月10日(夜)、津発～11日作業～11日(夜)、津帰着

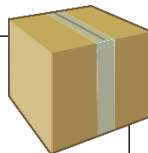
問 みえ災害ボランティア支援センター(070-4088-0099)



### ② 支援物資

避難所に支援物資を送る場合

支援物資の仕分けや搬送に人手が足りず、避難所までなかなか届かないことがあるようです。支援物資を個人で送る場合は、被災地の周辺の自治体にお問い合わせください。



### ③ 寄付金 寄付金には2種類あります。

#### ・義援金

被災者に直接届けられるお金です。

ある程度お金が貯まってから公平に被災者の数や状況に応じて公平にわけます。

#### ・支援金

現地で復旧活動やボランティア活動などにあたるNPOなどの支援団体の活動に使われます。



## 更生を願い 社会との懸け橋を学ぶ

員弁地区更生保護女性会

犯罪のない明るい社会を目指し、地域で子育て支援活動を行なっている「員弁地区更生保護女性会」。

10月23日（水）メンバー30人で三重県立国児学園と更生保護施設上弁財荘への研修に同行しました。

国児学園とは児童自立支援施設であり、健全な家庭や家庭環境が整っていない児童が、寮生活を送りながら学ぶ施設です。三重県では津市の県立国児学園がただ一つの施設です。この日対応していただいた学園長の藤田さんは偶然にもいなべ市出身ということもあって、熱のこもった説明をしてくださいました。

子どもたちの健全な育成で大事なことは、規則正しい生活を送ることと自然に触れる環境だと藤田さんは言われます。また1組のご夫婦が寝食を共にして子どもたちの面倒を見ていることで、子どもたちの心の拠り所となっているとのことでした。

次に、刑期を終え社会復帰するまで、身寄りのない人が一定期間過ごす施設「更生保護施設上弁財荘」にも訪問しました。ここは平成25年に新設されたこともあり全国からの問い合わせが多いそうです。この日は2人が入所するというので、その準備に職員は追われていました。

更生保護施設上弁財荘にて



三重県立国児学園にて



「刑期を終えた方は、本当に何も持っていないままここへ来られます。温かい食事を提供することはもちろん、七夕やお月見会、クリスマス会などの季節の行事を、付近の方や県内の各更生保護女性会さんにお手伝いしていただいている」と施設長さん。「この施設が社会との架け橋となり、再び過ちを繰り返さず、社会復帰してほしいと願って送り出しています」と最後に言われた言葉が印象的でした。

## 第10回 桑西竹の十三夜

NPO法人 桑竹会

桑名市で竹林整備の活動をしている「NPO法人桑竹会」

10月26日（土）桑名市志知の県立桑名西高校付近の竹林で、今年で10回目となる「桑西竹の十三夜」を開催しました。

桑竹会は、毎年そのときに伐採した竹を使って、観客席と竹灯ろうを準備します。その数、なんと2500個。夕方、竹灯ろうに点火し、コンサートが始まりました。今年は県立桑名西高校のブラスバンドと津軽三味線「綾美」、そしておじさんバンドのザ・ヴァンガードの演奏でした。

また、駐車場は桑名西高校の敷地を利用しますが、会場へは長く暗い階段になるために、何人ものボランティアの方々が誘導します。この日は風もなく寒さを感じない穏やかな夜。音楽が竹林から夜空に向かっていく、そんな感覚を観客は楽しんでいました。



## ママと一緒に遠足

## あーちゃんので



子どもたちの健やかな育ちを見守り、応援する活動をしている団体、「あーちゃんので」。

10月11日(金)、員弁と大安の子育て支援センターの遠足が、藤原町鼎のエコ福祉広場で行われました。

この日は、「あーちゃんので」は、いっしょに来ていた赤ちゃんをあやしてくれていました。「下の子をメンバーさんが見ていてくれるので、お母さんは上のお子さんと思いきり遊ぶことができますよ」と子育て支援センターの保育士さんは言われます。また子育て支援センターでは妊婦教室も行っており、生まれてくる赤ちゃんのためにスタイを「あーちゃんので」と妊婦さんと一緒に手作りするそうです。日頃子育て支援センターに来たお母さんたちの相談や話相手にもなっている「あーちゃんので」。子育てに不安や心細いお母さんたちの心強い応援団ですね。



## 今さら聞けない、スマホのあれこれ 「スマホ講座」

### ドコモショップいなべ店×市民活動センター共催

昨年大好評だった「スマホ講座」、今回は4部に分け10月15日(火)と17日(木)に開催しました。

“スマホの機能をもっと活かして楽しい生活を送ってほしい”と企画し、34名の参加がありました。

内容は、アカウント、パスワード、バックアップ、迷惑メール対策など基礎から教えていただきました。受講者は「今まで、電話、LINEとカメラぐらいしか使っていなかった。今日説明を受けて、便利な機能があるんだなあと知りました」と話してみえました。

ドコモショップいなべ店副店長の光田さんは「これからも今回のようなプロボノ(職業上持っている専門知識やスキルを活かして社会貢献するボランティア)活動をつづけていきたい」と話されました。



寄付は楽しく！ Donate to Be Happy!



## イベント案内

### 11/13(水) 子育てサロンさくらんぼ 「マママルシェ」

10:00~13:00 員弁老人福祉センター2階

ママと社会をつなぐマルシェです。ママ以外の方も、どうぞ！

問 090-5100-7322 (服部)

### 11/29(金) ボランティアのつどい

13:30~16:00 員弁老人福祉センター2階

講師：米山哲司氏（特定非営利活動法人 Mブリッジ代表理事）

～「ボランティアの力」が地域のカ～

SDGs の話題の話題にふれながら、ボランティア活動・まちづくりについて  
学び、考える機会として講演とワークショップを行ないます。

申込・問合せ いなべ市社会福祉協会 41-2945 (小川・服部)

### 12/12(木) 団体運営の基礎講座

9:30~11:30 市民活動センター会議室

①運営について ②広報、チラシについて ③会計について

申込・問合せ 市民活動センター 74-5806

詳細のチラシは  
12月に発送します

## NPO カフェのご案内

毎回、いろいろなテーマで話し合います。

テーマは変更になることもある、自由な会です。

コーヒーを飲みながら、いろいろな価値観に触れることも、たのしいです。

お気軽に、ご参加ください！

次回 11月16日(土) 9:30~11:30

テーマ 「地域防災」

場所 市民活動センター会議室

12月は、休みです



## いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 員弁老人福祉センター内

TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834

E-mail [i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp](mailto:i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp)

HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

